

# 加西市議会だより

council reports No.109

## — 議員定数を18に —

### 第210回(9月)加西市議会定例会を開催

第210回定例会は、9月1日(金)から22日(金)にわたり開催。今定例会では、本会議、委員会においていずれも慎重審議を行い、議員定数を来年4月に予定される選挙から18名(現行20名)に変更する議員提出議案をはじめ、報告2件、議案22件(1件は修正可決)、陳情1件、意見書案1件をそれぞれ承認、可決、または採択いたしました。(7P参照)

また、平成17年度の決算案件10件につきましては、9名の委員からなる決算特別委員会(西川正一委員長)を設置して付託し、継続審査中です。

## CONTENTS

2~6 主な一般質問

7 定例会議決結果等一覧

8 ちびっ子議員登場・審議日程等



### ミニSL列車に歓声

11月4日(土)、5日(日)の両日、全国鉄道まちづくり会議の協賛事業として、田原町グラウンドで、北条鉄道のボランティア駅長の皆さんによるミニSL試乗会が催されました。北条鉄道のボランティア駅長の取組みは、「新日本様式」100選に選定されています。

# 一般質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく学校問題、福祉施策、環境問題... etc聞かせてちょうだい。

9月11、12、13日の本会議では、延べ21人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

## 農地・水・環境 保全向上対策

**Q** この対策は、農林水産省が300億円の

予算で取り組む事業で、地域ぐるみの活動として担い手だけでは地域農業が守れないために、農地や水路といった農村資源の保全に向け、地域住民全体が参加する共同活動と環境に優しい営農活動を支援する対策①対象面積と対象区域の決定のとりまとめ状況は。②農用地と農用地外の区分について、市の出た資料との食い違いがあると聞く、丁寧な確認作業をお願いする。③補助金は、農用地10<sup>ヘクタール</sup>当たり4,400円で、市全体で年間1億4,400万円と非常に大きな事業。約3,600万円の市の負担は大丈夫なのか、国に交付税の支援を求めるべきではないか。

**A** ①平成19年度の実施に向け、加西市全域に対し説明会を実施しました。対象集落数は114集落で、事業参加の回答は110集落です。②面積の食い違い

につきましては、各町の責任者の方と十分協議し、確認しながら面積確定をしていきたい。③財政難ではありますが農家を取り巻く状況は非常に厳しく、地域で農地・水・環境良好な保全と質的向上を図るため実施の方向で進めていきます。国・県からも当該事業の市負担分の軽減、地代措置等の施策もあるように聞くが、今後も要望を重ねていきたい。この共同活動の中で施設の点検、またきめ細かな補修、保全の役割、破損部分のこまめな補修による用配水路施設の延命化が図られることにより、5年後、10年度のは場事業等の用排水路の更新事業の市負担が大きく軽減され、事業効果は大きいと考えます。

## 市主催による 大会等の見直し

**Q** 市では毎年多くの大会などが行われているが、中には既にその役割を終え、ただ単に、去年もやってきたからと情性で何の疑問もなく、また見直しを検討することなく、毎年開催され、人

につまましては、各町の責任者の方と十分協議し、確認しながら面積確定をしていきたい。③財政難ではありますが農家を取り巻く状況は非常に厳しく、地域で農地・水・環境良好な保全と質的向上を図るため実施の方向で進めていきます。国・県からも当該事業の市負担分の軽減、地代措置等の施策もあるように聞くが、今後も要望を重ねていきたい。この共同活動の中で施設の点検、またきめ細かな補修、保全の役割、破損部分のこまめな補修による用配水路施設の延命化が図られることにより、5年後、10年度のは場事業等の用排水路の更新事業の市負担が大きく軽減され、事業効果は大きいと考えます。

半強制的に寄せれば良いという集会が多くあるのではないかと。一般の人には頼みにくいので、町役員が参加して人員をそろえておられる町もあると聞く。動員等による人集めを取りやめることによって市民の負担を軽くするとともに、役目を終えた大会などは廃止するなど経費の節減の上からも、これらのむだな事業について今後全庁的に見直しなどする予定はないのか。

**A** 大会等の開催は、それぞれ目的をもって開催すべきことは言うまでもありませんが、一方行政だけで推進すべきか、あるいは市民にかかわりのある行事、市民に関心を持ってもらう必要があるれば、市民参画の観点からも積極的に参加していただくように努力することも大変重要で、できるだけ多くの方に参加していただくために、町を単位として出席要請を行ってきた経緯があります。区長さんを通じて依頼をすれば、町の役員さんに出席依頼が集中するということが確かに考えられ、このような事例

半強制的に寄せれば良いという集会が多くあるのではないかと。一般の人には頼みにくいので、町役員が参加して人員をそろえておられる町もあると聞く。動員等による人集めを取りやめることによって市民の負担を軽くするとともに、役目を終えた大会などは廃止するなど経費の節減の上からも、これらのむだな事業について今後全庁的に見直しなどする予定はないのか。



があると思えば、いま一度見直しを検討する必要があると考えます。

また、大会等のあり方、開催方法の見直し等についても検討し、あわせて参加者のご意見をお聞きしまして有意義なものとなるように努力をしてみたいです。

現在、大会等のほかに開催目的、構成団体等が類似している協議会も整理、統合、廃止を含めた検討を現在行っています。今後構成団体及び参加される方のご意見を賜りながら検討してみたいです。

## 入札問題について

**Q** 市の入札における落札価格は、84・1%、あるいは500万以上から1,000万までが77%とのことだが、予定価格はどこに根拠を置いてされているのか、あるいは地元業者の育成について、どのように思われているのか。朝妻の1工区の下水道事業、あるいは吉野団地はなぜ不調に終わったのか。

財政再建で税金のむだ遣い

をなくしたいのはよくわかるが、業者さんをとことん痛めつけてやったのでは、かえってマイナスになるのではないかと

**A** 予定価格の設定につきましては、いろいろいると独自のルートで情報収集し、市民の皆さんからお預かりしている税金がむだに使われないよう、有効に使うように心がけております。

地元業者は十分にこれまで長い年月のあいだに育成されてきたものと認識しています。一方で、地元の建設業者は災害等の場合の万一のそのときの役割も提供してくれる業者です。そういう業者につきましては、今後とも地域に不可欠な存在だと認識しており、この1年間で入札制度の問題点、それから全体の業者さんの施行コストの瀬踏みをしてきたと思っています。

入札不調の原因は明らかに予定価格が低かったということとです。今後予定価格は適正な競争のもとで、かつ行政の育成も考慮して高過ぎない、低過ぎないというような適正の価格へ設定するようなこと

ができるよう今後いろいろと再度見直していきます。

## 高齢者の足の確保

**Q** 高齢者の足の確保として、「戸ロタクシ

ー」その家の戸口から目的地まで運ぶタクシー、予約制でそのようなシステムをつくれぬものか。この戸ロタクシは、全国的にも幾つか例がある。高齢所帯が千百何所帯もあり、また独居の老人もかなりいまからまだまだ増える中で、また路線バスの廃止等が出てくるので、この高齢者の足の確保としてのこの戸ロタクシーの考えを尋ねる。

**A** 予約制の戸ロタクシは、これは独居老人対策としても有効だと思っています。現在、コミュニティバスを運行していますが、これは定時運行とはいえず、利用者は大変少ないです。もっと機敏に高齢者が出歩きやすいような、環境を整備するという意味では、この戸ロタクシは有効な手段だと思っています。これを私はできれば北条鉄道等で運送事業を引き受けるこ

とによって、対応できないか検討しますけれども、一方においては市内の民間のタクシール業者の利害もございまして、その辺着地点を見出しながら、財源とも相談して検討させていただきます。

## 少子化対策

**Q** 厚生労働省は、2006年上半期に生ま

れた赤ちゃんは6年ぶりに増加し、雇用の改善や結婚の増加等が原因と発表している。加西市の出生状況はどうか。特に、学童保育は3年前の全国サービス番付で加西市は全国675市中、ワースト9位。その後どのように向上に取り組まれたのか。少子化対策は、いま最優先して取り組む施策と考えるがどうか。

**A** 加西市における8月までの出生数は221人、月平均28名で、このまま推移すると年間で330名程度。昨年は386名で減少が見込まれます。結婚件数の減少、女性の平均初婚年齢の上昇、第1子出生時の母親の平均年齢の上昇など、未婚化、晩婚化、晩

産化の進行によると考えます。

学童保育には、少子化対策の大きな一つと考えています。伸びない理由は、子どもの方の中にかなり長いこと子育てというものは家庭がやるべきであるという考え方があって、できるだけ抑制的、制約的にやってきたことが大きな要因だと感じます。

やはりこれからは女性が働くことを前提に考えなければならぬ。については、11園でいいのか、あるいは乗り入れをしてもう少し数を減らすのかも含めて考えを始めているところです。

少子化対策のための予算措置、あるいは予算増の必要性は私も痛感しています。考えられるメニューを洗い出して、何が有効か、優先順位をつけて対応していきます。

## 福祉施策の取り組み

**Q** 生活保護支援については、特に公平、公正

さを必要として、正確かつ迅速な対応が要求されると思いますが、問題がないか。

障害者自立支援法の軽減措

置については、宝塚、伊丹、また隣の福崎町でももう取り組みをされている。加西市の取り組みは消極的ではないか。そういった施策をされる気がないのか。

**A** 生活保護支援については、相談等はどの方に対しても公平、公正、平等で丁寧に詳しく説明しております、問題はないと考えます。

また、正確かつ迅速な対応に努めています。法に基づく詳細な調査、審査等が必要で、直ちに要保護にならないケースが多くあります。しかし、緊急を要する場合には迅速な対応を行っています。

障害者自立支援法の軽減措置について、新しい制度のもとでの業者負担は、福祉サービス料及び医療費の原則1割負担と、食費、光熱費の全額負担が義務づけられました。その結果、急激な負担増となり、障害者の生活苦を招くおそれが生じたため、国は負担の上減額を所得に応じて定めたり、生活保護に移行しないよう額の決定を行ったり、食費について補足給付を行って、償還給

付する等、様々な激変緩和措置を実施しているところで、市も独自の支援策を講じる必要があるのではないかと考えています。

10月に実施予定の障害者意向調査の結果を踏まえ、また近隣市町の動向を参考にしながら、財政再建計画と整合性を図りつつ検討していきます。

## 学校問題等

**Q** 地元市民の理解も得ずに事業予算を補正で上げ、加西市全体の学校構

想がない段階で、新構想学校の単独工事をどう考えるのか。宇仁の小学校の便所は、いまだに汲み取り式で小学校低学年は家に帰ってトイレを済ますとか。こんな環境で小学校の子が勉強しているのをどう思われるか。0歳から15歳、750人、50人単位で最大750人。建物は、日照権の加減で2階しか校舎を建てられない。宇仁小学校の用地で新学校構想の校舎ができるのか。少子化で子どもが減る中、特区認定を受け賀茂幼稚園を開園し、立派に運営されて、全国

からも視察が相次いでいます。なぜ次の構想ができないのか。

19年度の幼稚園の入園見舞集で、弾力的運用をしてもらっている富合幼稚園に15名の生徒が集まらなかったら休園という形になってしまつたのか。今後加西市の幼稚園の計画はどうなっているのか。

**A** 着任して間もなく人口を意識し数を述べ

ましたが、地域意識の非常に強い本市で、まず学校、数の論を展開することはよくないということに気づきました。むしろ新しい学校というものを考える中で、当然学校の全体構想も市民的議論の対象になってくる。そこにゆだねていく方がよしいとは考えています。宇仁小のトイレについては、ご指摘のとおりだと思います。ただ、やっぱり私の思いの中には学校が新しくなるのどという思いもあるのです。もう少し考えさせていただきます。幼稚園・保育所は公立6、私立6というような体制で当面いこうという話になっております。幼児園は賀茂、九会まで決めますが、その次をど

## 市長の政治姿勢

**Q** いまの加西にとって市民病院の医師不

足、そして小野市との関係が本当の喫緊の課題で、任期付きの職員の条例案やシステムアドバイザーの補正を組むのであれば病院の医師を確保するための補正を組んでどうか。市長は昨年の委員会ではお金のことにこだわらぬ医療職は必要ないと言われた。そう

言って医師が減ってしまった。そのことから、それが原因であるかどうかは受けとめ方の違いとしても、医師に対する手当・報酬を見直ししても医師を探さず、そうでなければ市民病院の病院経営が成り立たない、ひいては財政再建を目指す加西市に致命的な状況を招くのではないか。

小野市との関係は、原因がどうであれ隣同士の行政がこういう状態ではないのか。やは

り市長の5カ月の不在が現状の関係を招いていると思う。本気で関係修復をする気があるのか。

**A** 病院に関しては、いろんな方法で医師確保に尽力しています。しかし、医師を確保する上では、確保した産婦人科部長のネットワークの中で、次の人材を確保していくのが順当なやり方です。私がしゃしゃり出て変な混乱を起こさないように、院長に常に何かあったら何でも指示してくださいと対応しています。私としては、例えば病院の器材調達を、より経営の採算性を上げる意味で廉価な調達に尽力し、厚生労働省医事課にも出向き、大学の大学長にも面談し、あるいは医師住宅の建てかえも自ら企画しています。最大の取り組みもやっていることをご理解いただきたい。

小野市長とは、けんかをしているものではありません。お互いに是非々々で会議等でも議論しています。北条鉄道に関しては、最終的に小野市長、あるいは小野市議会の最



終方針を見定めたいと思いません。個人的な軋轢が、両市民の今後に悪影響が出ないように、お互いの良識ある対応をうけていきたいと思えます。

## 遠坂峠のトンネル化促進

**Q** 小売業販売額は商業統計によると5年間で約18%、98億円の減。三洋電機跡地にイオンが出店予定と聞かすが、そうならばなお一層の集客増を図らねばならない。集客増を図る範囲として、多可町八千代区、加美区、中町区などが候補に挙げられる。

八千代と通じる県道、この大和村とちよつど加西との境にあるこの遠坂トンネル、これを社会基盤整備プログラムに乗せていただくべく、加西市長と多可町長でアクションを起こしていただきたい。

**A** 遠坂峠は、加西市から多可町への境部分が峠となっており、道路が1車線でありながら、屈曲し、通行するのに注意が必要な箇所となっています。しかしながら、現時点での県の社会基盤

整備プログラムの中には、遠坂トンネル計画は記載されておらず、今後の計画として要望していく必要があります。

多可町とのダイレクトリック、直結を考えるなら芥田の遠坂峠、それから河内の柳峠、この道路拡幅等は検討すべき課題かと思えます。多可町長からの打診、誘い水もありますし、その事業の可能性を探るとともに、連携して県にも要望していきたいと思えます。

## 環境保全について

**Q** 公害については笠屋の状況は改善されていない。また、ゴミや自転車等の放置対策、朝妻問題の未然防止策はあるのか。

**A** 笠屋町の公害について、市は基本的に現在の住宅地域での創業が問題との判断から、産業団地への移転を打診しましたが、移転が確定していない段階では無理との回答でした。また、脱臭機の試験費用等々にも多額の資金を必要とするために、7月に県地球環境保全資金融資を申し込み、8月末に決定

しました。現在公害防止計画書の提出を求めています。今後提出されます計画書に基づき、この計画で悪臭の防止ができるのか、また計画どおり実行できているのか、融資金元であります県とともに監視、指導を行っていきます。

放置自転車並びにゴミの件ですが、放置自転車は、処理に当たり担当部局並びに警察においても所有者があるのかないのかという判断が難しく、拾得物として処理をするのに大変苦慮しているのが現状です。ゴミ問題も含めて、市民への自覚というPRに加え、環境ハトロールをさらに強化していきます。クリーンセンターと衛生センターでも、気がついたゴミを、業務の早く終わったときに集めて回ることも徹底しています。また、日誌もつけながらどこでどれだけの拾ったかというようなこともするようになっています。それから、シルバー人材センターにも委託して、集中的に多く出ると思われるところを回っています。環境監視員(エコレンジャー)の募集締め切りが10月10

## 企業会計事業の立て直し

**Q** 市長は、県水や市川町の交渉等いろいろな努力をして、水道料金は下げられると言われる。

水道料金、下水道料金は2割も下げてもらえるのだから、どう考えても絶対的に金が足りない。水道料金が10円変わったら、4,600万違ってくる。2割下げるとしたらかなりのお金がある。そういう財政状況の認識を市長もよくわかっているのではないか。なぜ下げられませんか。水道料金の将来的な減額の可能性は、五つの方法を前々から申し上げていますし、来年度から新規水源開発の予算も導入したいと思えます。

私は、水道料金、あるいは税金という個別の値下げを言っ

ているではありません。業務全体を効率化して、むだを見直す中で、一方において受益者負担の原則も取り入れて、市役所全体の収益を高めながら、むだな支出を抑制しようとして上げています。収納率のアップもその一環です。アイデアとしてあえて申し上げますが、水道事業を仮に民間化したら利益が出ている民間企業になります。それを上場すれば上場益で借金も返済できるのです。そういう可能性、将来的にできないかどうか見極めていくのが市長の責任だと思います。

いま加西市の財政、企業会計を含めて過不足(赤字)があります。そういう現実に対して私は経営努力をもって収支を均衡させよう、あるいは少しでも赤字を減らすと努力していることをご理解いただきたい。

## 乳幼児医療無料制度の拡充

**Q** 市長は少子化対策については重点を置いていきたいと繰り返し述べら

れております。私たちがびっくりするほど早くこうだと思っただら補正が上がってくるんですが、こういう問題は即対応してもらえないのか、いつごろから実質に進めていくと考えているのか。

**A** 子どもの病気は子育ての大きな不安の一つです。加西市の乳幼児医療制度は、乳幼児が健康を保ち健やかに成長できるように、子育て世代の経済的負担の軽減を図り、乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るために財政再建を進めながら、平成17年7月から医療費の無料化を3歳未満まで拡充しました。

乳幼児医療体制は、全国一律ではないため対象年齢や所得制限など自治体によって内容に格差があります。乳幼児受診対策としてのさらなる拡充は、少子化対策の一貫として子育て支援に関して、総合的かつ計画的に推進が必要と考えます。平成18年度の財政状況を勘案しながら、この拡充について市負担額の財源確保を視野に入れ、来年度予算に反映できるよう検討をして

いきたい。人口増のために少子化対策にいろいろ取り組みたいが、今回の補正には間に合いませんでした。

人口増のためには1子、2子だけでなく、第3子を産んでもらってこそ人口増は図れると認識しています。例えば、第3子の保育料、あるいは医療費を無料にするような方策も考えたいと思います。

## 新構想学校案

**Q** 新構想案で一番の特色は、ゼロ歳から15

歳までの一貫教育。これが今までの教育とどう変わるのか。中学校4年制を言われるが、今までの3年制のどこが悪く、4年制のどこがいいのか。25人学級の提案は、市の単費も必要だが、こういう思い切った少人数教育を判断された中身は何か。理想の学校の検討はいいが、現実の学校の校舎建設はどうするのか。この案はあくまでもたたき台であって、おおいに変わりうるものなのか。

**A** 無修正でいくことはありません。大いに

考えていただいて、後は市民サイドでもいるんな対案、反論も含めて出していただきながら、まとめていきたい。

せっかく新しい学校をつくるのだから、ゼロから15歳まで連続しておけばお互いが成長を実感できる。3歳児は15歳のやや大人を間近に見ることができると、逆に15歳はまさに3歳児やゼロ歳児を見ることができると。そういう育ちを学校がどう確保していくかはやりがいのあるテーマです。

5歳児入学とか中学4年制はものすごく難しいと思いますが、言い出す意義、価値はあります。もし学校教育法上、今の文科省の考えでは絶対無理だとしても、小学校6年生の課程を、中一っぽい構成で、全体のカリキュラムを構成することは許されると思います。25人学級は物すごく難しいが、これも言い方の問題で、学級の弾力化を考えています。25人での授業もあるし、50人、10人での授業もある、そういう組み合わせできないか、それがある教科の一部あるいは全

てでいいのか、その辺も考えていくべきことです。

要は、制約条件があるからだめという発想ではなく、こういうものをつくりたいという考え方でスタートする、それが学校づくりだと考えます。

## 市民会館の運営

**Q** 市民のために自主事業をやることはいい

が、複数の議員も関わって同じような企画・運営で、平成13年度85万8千円、15年度112万円、18年183万円と赤字が続いている。たくさんの方に見ってもらうには、1年に1回か2回、春と秋なら春と秋に1回、市民会館に吉本新喜劇や歌舞伎など立派な市民が喜ぶ方を呼んで、そこで昼・夜の部に分けて、年に4回ほど全市民が市民会館に集まってきて楽しむ笑顔で見に来て、笑顔で帰る、こういう公演をされた方がいいと思う。

市民の税金であるお金をこれだけ使うなら、市民会館をいっばいにできるように、また市民に還元する意味でも、無

料ですることはできないか。市長の見解をお願いします。

**A** 市民会館の自主事業については、興業のノ

ウハウもないのに素人が本来業務でもないところまで、自分たちの管理限界を超えて手を広げ過ぎているくらいは前から指摘しています。原則、収支均衡になるように、あるいは赤字でも最低限で済むように、チェックしながらやるようにと指示していますが、今回そういう赤字が出たのは大変残念です。興行は半分の席で収支がとれるような金額で招くものだと思います。今後、市、あるいは市が関連してやる場合は、ギャラの金額設定から見直していきたいと思えます。

市民全員が無料で参加できるようにイベントは私も前から言っていることで、いろんな事業をばらばらに、それぞれの担当者がやるのではなく、1年に回数を定めてしっかりとしたものやる方が、市民の共同体意識が高まるのではないかと認識しています。



# もっと知りたい!

## 議員定数を18へ

今回、市民のみなさんの多くの要望をはじめ、近隣市や財政の状況などを鑑み、議員定数を2減らして18とする議員提出議案が出されました。定数削減は、市政参加への窓口をいたずらに狭めてしまうのではとの反対意見もありましたが、賛成多数で可決となりました。

## 議案第66号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例を否決

この条例は高度な専門知識や経験、優れた識見を有する者を特定の目的のために期限を限って採用する方が、職員の養成を行うより即効性に優れ、効率的な業務運営が図れるとして提案されました。

現在、県下で5市が同様の条例を制定し、採用実績があるのが3市で、うち2市は災害時などの臨時的・嘱託的な採用。残る1市については、助役を置かず部長を登用するもので、根拠条文も加西市とは異なります。

議員からは、特別職や職員の人件費を削り、財政再建に努める加西市に高給を要する職員が必要か。また、国、県、ならびに県警等との人事交流の方が、効果的ではないか。更なる職員の育成を求めるなどの意見が多く、様々な課題を早期に解決するためには、このような職員も必要ではとの意見もありましたが、反対多数で否決となりました。

## 一般会計補正予算の修正

宇仁校区において0歳から15歳までの幼小中一貫教育を行う新構想学校(案)にかかる報償費と旅費合わせて80万円が計上され、今後市民や議会の意見を聞いて修正していくとはいえ、加西市の小中学校の全体構想を先に示すべきとの意見や、財政的な裏づけがないままこの構想を進めること、物理的な立地の問題等、この構想の実現を疑問視する意見が多く出されました。

否決した議案第66号に係る新構想学校(案)に関する80万円を減じる修正案が提出され、議案第75号は、賛成多数で修正可決されました。

# 第210回 加西市議会 定例会議決結果

平成18年9月1日(金)~22日(金)

- 報告第5号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成18年度加西市水道事業会計補正予算(第1号)について) **原案承認**
- 報告第6号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成18年度加西市下水道事業会計補正予算(第1号)について) **原案承認**
- 議案第66号 加西市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について **原案否決**
- 議案第67号 加西市議会議員及び加西市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第68号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第69号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第70号 加西市知的障害者援護施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第71号 農作物共済の無事戻し金の交付について **原案可決**
- 議案第72号 畑作物共済の無事戻し金の交付について **原案可決**
- 議案第73号 園芸施設共済の無事戻し金の交付について **原案可決**
- 議案第74号 農業共済事業会計特別積立金の取崩しについて **原案可決**

- 議案第75号 平成18年度加西市一般会計補正予算(第2号)について **修正可決**
- 議案第76号 平成18年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について **原案可決**
- 議案第77号 平成18年度加西市介護保険特別会計補正予算(第1号)について **原案可決**
- 議案第78号 平成18年度加西市下水道事業会計補正予算(第2号)について **原案可決**
- 議案第79号 平成17年度加西市一般会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第80号 平成17年度加西市有線放送電話特別会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第81号 平成17年度加西市国民健康保険特別会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第82号 平成17年度加西市介護保険特別会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第83号 平成17年度加西市老人保健医療特別会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第84号 平成17年度加西市公園墓地整備事業特別会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第85号 平成17年度加西市農業共済事業会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第86号 平成17年度加西市水道事業会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第87号 平成17年度加西市下水道事業会計の決算認定について **継続審査**
- 議案第88号 平成17年度加西市病院事業会計の決算認定について **継続審査**
- 陳情第1号 わかあゆ園における外来訓練再開について **原案採択**
- 条例案第4号 加西市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 意見書案第5号 さらなる総合的な少子化対策を求める意見書(案)について **原案可決**



# ちびっこ議員登場 その35



僕の理想は、やはり市外から加西市に訪れたいと思っております。魅力がある市にするこちびです。昔から伝統ある観光地も多く残っているのですが、老若男女が楽しめる施設を作るような加西市にしたい。施設を作りたい。例えば、年齢関係なく楽しめるスポーツジムです。

## 僕を目指す加西市

善防中三年 森脇大輔さん

私がもらえる街にしたいです。加西市を観光した後のお客さんに「この街にくると元気が出るとか」「勇気がわいてきた」と言ってもらいたいです。そして何よりも、加西市の人の優しさが今以上に、温かく人を迎え入れてあげられる街にしたいです。

## 元気と勇気をももらえる街

北条東小六年 織田にしきさん

お詫びと訂正：議会だより第108号10頁ちびっこ議員に登場いただいたのは北条中学3年の谷川陸さんでした。訂正してお詫び申し上げます。

### 12月議会日程と 閉会中の委員会日程

一度ご覧になりませんか。  
みなさんの代表の質問を！

#### ■次回平成18年(12月)加西市議会定例会の日程

月日	曜日	時間	会 議
12月1日	金曜日	10:00	本会議
12月6日	水曜日	12:00	発言通告期限
12月11日	月曜日	10:00	本会議(質疑、一般質問)
12月12日	火曜日	10:00	本会議(質疑、一般質問)
12月13日	水曜日	10:00	本会議(予備日)
12月14日	木曜日	10:00	建設経済委員会
12月15日	金曜日	10:00	厚生委員会
12月18日	月曜日	10:00	総務委員会
12月22日	金曜日	10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎42-8790)でご確認ください。

本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、12月6日(水)に加西市議会のHP(<http://www.city.kasai.hyogo.jp/gyosei/gikai/index.htm>)に掲載予定です。

#### ■閉会中の委員会の開催について

11月16日(木)・17日(金) 決算特別委員会(議員協議会室)

11月24日(金) 総務委員会(委員会室)

※いずれも10時～

※委員会の傍聴を希望される方は、市役所議会棟2階の議会事務局でお申し込みください。

### ようこそ！ 市議会ホームページへ

加西市議会のホームページ(<http://www.city.kasai.hyogo.jp/gyosei/gikai/index.htm>)では、本会議・委員会の日程をはじめ、発言通告締め切り後には、質疑・一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。

ぜひ一度ごらんになって、関心のある問題が議題である日の本会議や委員会を傍聴してみてください。

また、市議会だよりのバックナンバー(平成14年7月～)、本会議の会議録(平成13年6月～平成18年6月※平成18年9月議会分は12月初旬掲載予定)、最新の議決結果も掲載しています。



■議会だよりは、資源保護のため100%再生紙を使用しています。



あなたのご意見を  
お寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。